

# Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2011	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	環境園芸学科
科目名称 [英語名称]	花卉園芸各論 [Advanced Floriculture]				
科目コード	710029	単位数	2	配当学年	2年次
教員氏名	長江 嗣朗				
授業概要	<p>花卉園芸は生産園芸、趣味園芸および社会園芸に大別できる。本講義では、生産園芸を主として取り上げ、講義する。すなわち、主要な鉢花および切り花を取り上げ、現在実際に生産現場で行われている栽培技術を紹介し、植物に及ぼす影響のメカニズムを解説する。</p>				
授業計画	<p>第1回: 花卉と人類とのかかわり                  第2回: 花卉植物の育苗と施肥設計                  第3回: 鉢の物理的特徴と植物の生長                  第4回: 鉢花生産1 (シクラメン、ポインセチア)                  第5回: 鉢花生産2 (カーネーション、ラン)                  第6回: 切り花生産1 (キク、カーネーション)                  第7回: 切り花生産2 (バラ、ユリ、トルコギキョウ、ガーベラなど)                  第8回: 花成ホルモン(フロリゲン)の発見                  第9回: 植物ホルモンの花卉への利用1 (オーキシシン)                  第10回: 植物ホルモンの花卉への利用2 (ジベレリン)                  第11回: 植物ホルモンの花卉への利用3 (サイトカイニン)                  第12回: 室内における花卉植物の生理                  第13回: 切り花の鮮度保持                  第14回: 鉢花の鮮度保持                  第15回: まとめ</p>				
授業の到達目標	<p>まず、花卉が人類にもたらす影響を考察し、その必要性を理解する。                  次に、我が国における花卉産業は、低価格の近年外国からの輸入物の影響を受けている。そこで、安価な外国産の花弁では得られない付加価値の高い花卉を講義し、その生産方法を理解する。</p>				
評価方法	<p>期末に行う筆記試験によって評価する。また、出席状況も評価に考慮する。</p>				
テキスト	<p>なし</p>				
参考書	<p>「花卉園芸総論」                  「花卉の開花調節」                  「花卉園芸学」                  「花卉園芸」                  「花卉の栄養生理と施肥」</p>				
備考					